

はじめに

近年、国内で発生する気象災害は激甚化・頻発化しており、緊急消防援助隊は平成 25 年度以降毎年、全国各地で発生する災害現場に出動して被災者の救出・救助活動に当たっています。緊急消防援助隊が果たす役割への期待が高まる中、平成 23 年度以来 10 年ぶり 3 回目となる本県での関東ブロック合同訓練開催年度を迎えました。

新型コロナウイルス感染症という不安要素を抱えながらではありましたが、関東ブロックでは直近の 2 年間、合同訓練が実施されていないことから、緊急消防援助隊として活動する場を提供することも優先課題のひとつと捉え、10 年に 1 度の受援対応訓練が実施できる貴重な機会を最大限活用できるよう、本県らしい訓練企画の検討に努めました。

具体的な訓練計画には、前回合同訓練以降に本県で発生し、緊急消防援助隊の派遣を受けた御嶽山の噴火災害、令和元年東日本台風による浸水被害、土砂崩落等、大規模地震の発生と関連付けた種目のほか、全国的な課題となっている女性消防吏員の活躍推進のためのディスカッション、さらにメイン会場においては感染症対策やプライバシー確保にも配慮した宿営の実践を行うことなど、独自の企画も取り入れながら充実した訓練を目指しておりました。

しかし訓練直前、新型コロナウイルス感染症の拡大により関東ブロック 9 都県に緊急事態宣言又はまん延防止等重点措置が適用され、訓練の実施自体が危ぶまれる極めて厳しい状況となりましたが、最終的には感染拡大防止と訓練実施の両立を目指した Web 会議システムによる図上訓練を実施できたこと、さらに別日程で県内消防機関を対象にしたソロテントによる宿営モデルの提案等を実施できたことは、今後の訓練の在り方にも一石を投じる大きな成果になったと考えております。

例年の関東ブロック合同訓練とは趣の異なる内容ではありますが、本書は訓練の記録、参加者の御意見から抽出した課題や検証事項等を取りまとめたものです。結果については引き続き十分に検証し、本県の受援体制の強化に繋げていくとともに、本書が各都県のさらなる消防・防災体制の充実強化の一助となれば幸いです。

結びに、今回の訓練実施にあたり、御指導・御協力をいただきました消防機関、関係機関の皆様、また被災地想定の実地や施設・資機材に関して御支援をいただいた事業者の皆様に、心より感謝を申し上げます。

令和 4 年 3 月

緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練長野県実行委員会
委員長 中村 宏平（長野県危機管理部長）

目 次

はじめに

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響による合同訓練見直しの経過 . . . 1

第1章 訓練概要及び実施結果

第1 Web会議システムを活用した状況予測型図上訓練 2

1 訓練目的 2

2 訓練想定 2

3 訓練日時 2

4 訓練参加機関と視聴機関 2

5 訓練実施事項 3

6 検証重点事項 4

7 訓練進行結果 5

第2 Web会議システムを活用した状況予測型図上訓練の評価表集計結果 11

第3 宿営活動時の長野県実行委員会モデルの提案 28

1 提案背景 28

2 概要 28

第4 宿営活動時の長野県実行委員会モデルの提案と資機材等展示・訓練及び実証
試験 32

1 目的 32

2 日時 32

3 場所 32

4 協力機関 32

5 参加者 32

6 展示・訓練内容 32

7 参加者からの評価結果 37

8 課題と対策 39

9 ソロテント宿営実証試験 40

第5 訓練会場・資機材等協力団体 48

第2章 全体検証会

第1 全体検証会 50

第2 総評（訓練検討員） 57

第3章	訓練縮小に伴い中止した訓練企画等	
第1	訓練概要	60
1	訓練目的	60
2	訓練想定	60
3	訓練日時	60
4	訓練等会場	60
5	参加機関	64
6	協力機関	64
7	訓練項目	65
8	実施要綱等（DVDに収録）	65
9	運営役員	67
第2	航空部隊訓練概要	70
1	訓練目的	70
2	訓練日時	70
3	訓練項目及び実施要領等	70
4	参加機関	71
5	ヘリベースとフォワードベース	71
6	航空機訓練会場	72
	訓練事務局員紹介	74
	参考資料	
	長野県実行委員会設置要綱	75
	長野県実行委員会作業部会設置要領	79
	長野県実行委員会事務局設置要領	83
	リーフレット（令和3年7月現在の計画）	86
	おわりに	89
	巻末（DVD2枚）	
	○1枚目	
	・Web会議システムを活用した状況予測型図上訓練【フェーズ1及び2】（動画）	
	○2枚目	
	・Web会議システムを活用した状況予測型図上訓練【フェーズ3（各ブレイクアウトルーム）及び検証会等】（動画）	
	・データ集	
	01-01 Web会議システムを活用した状況予測型図上訓練	
	01-02 Web会議システムを活用した状況予測型図上訓練の評価表集計結果	
	01-03 宿営活動時の長野県実行委員会モデルの提案と資機材展示・訓練	
	01-04 宿営活動時の長野県実行委員会モデルの提案と資機材展示・訓練結果	
	01-05 宿営実証試験	
	02 全体検証会	
	03 訓練縮小に伴い中止した訓練企画等	
	当初の訓練企画（フルスペック）	…「6月計画」
	宿営訓練中止決定後の訓練企画	…「7月計画」
	実動訓練中止決定後の訓練企画	…「9月計画」

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響による合同訓練見直しの経過

令和3年度緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練は、本県での開催が10年ぶりとなる貴重な受援訓練の機会であり、関東ブロック1都8県と隣接2県の応援部隊参加のもと、令和3年10月11日（月）・12日（火）の2日間、長野県上田市をメイン会場に6市1町の訓練会場で図上訓練、14項目の実動訓練及び女性消防吏員活躍推進ディスカッションを実施する計画を立案し、令和2年7月の第1回実行委員会において承認を受けました。その後、令和2年10月1日に事務局が発足し、訓練計画作成を本格的に始動させました。

新型コロナウイルス感染症が全国に広がっていたことから、事務局でも感染防止の徹底を図り、感染状況を注視しながら準備を進めましたが、令和3年度を迎えても感染は終息せず、7月上旬には宿営訓練の中止等を求めた総務省消防庁通知が発出されました。この通知を受け、7月15日に臨時の実行委員会を開催し、訓練日を10月11日（月）のみとし、6項目の実動訓練に縮小すること、また、訓練実施可否を決定する基準日を9月27日（月）とすることなどが承認されました。

しかし、その後も新型コロナウイルス感染症の新規感染者は増加の一途を辿り、指揮支援隊にPCR検査を実施した上で、図上訓練に限って行うことも検討しましたが、8月19日には長野県内の新規感染者数が過去最高の158名、8月20日には全国の新規感染者数が25,992名を記録したほか、8月27日には21都道府県に緊急事態宣言が発出され、災害レベルといわれる状況に陥りました。県内消防本部では、他部署間の職員の移動や集合の禁止等、前例の無い厳戒態勢がとられ、実動はもとより図上訓練すら実施が極めて困難な状況となりました。

事務局としては、10年ぶりの機会を何とか活かしたいと考え、人的移動をほとんど伴わない「Web会議システムを活用した状況予測型図上訓練」を計画するとともに、感染防止やプライバシーに配慮したソロテントによる宿営活動時の長野県実行委員会モデルの展示と、応援時における特殊装備等の円滑な活用を目的とした独自企画を訓練直前となる9月3日の実行委員会において提案し、最終的な見直しが承認されました。

本報告書では、中止せず実施した内容を中心に掲載しましたが、中止した実動訓練関係の計画も記録として残すため、別添のDVDに関連資料を保存しました。計画見直しの経過も含めて、今後の参考としていただければ幸いです。